



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 2 年 10 月 実績

October 2020



令和 2 年 12 月

December 2020

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

2020（令和2）年10月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

## 2020（令和2）年10月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、9月4.4%減の後、10月は9.7%増となった。

需要者別にみると、民需は、9月0.3%減の後、10月は5.7%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月4.4%減の後、10月は17.1%増となった。内訳をみると製造業が11.4%増、非製造業（船舶・電力を除く）が13.8%増であった。

一方、官公需は、9月20.0%増の後、10月は「その他官公需」で増加したものの、地方公務、国家公務等で減少したことから、22.7%減となった。

また、外需は、9月16.7%減の後、10月は航空機、鉄道車両等で減少したものの、産業機械、電子・通信機械等で増加したことから、20.7%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、9月2.7%増の後、10月は電子・通信機械、重電機等で減少したものの、道路車両、産業機械等で増加したことから、6.9%増となった。

### (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、9月2.0%増の後、10月は11.4%増となった。

10月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（297.5%増）、「その他輸送用機械」（125.7%増）等の12業種で、食品製造業（40.4%減）、造船業（29.4%減）等の5業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、9月12.1%増の後、10月は2.3%増となった。

10月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、不動産業（62.6%増）、卸売業・小売業（54.9%増）等の9業種で、電力業（33.0%減）、通信業（16.8%減）等の3業種は減少となった。

### (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

10月の販売額は2兆1,609億円（前月比6.4%増）で、前3か月平均販売額は2兆907億円（同2.5%増）となり、受注残高は27兆8,317億円（同0.3%増）となった。この結果、手持月数は13.3か月となり、前月差で0.3か月減少した。

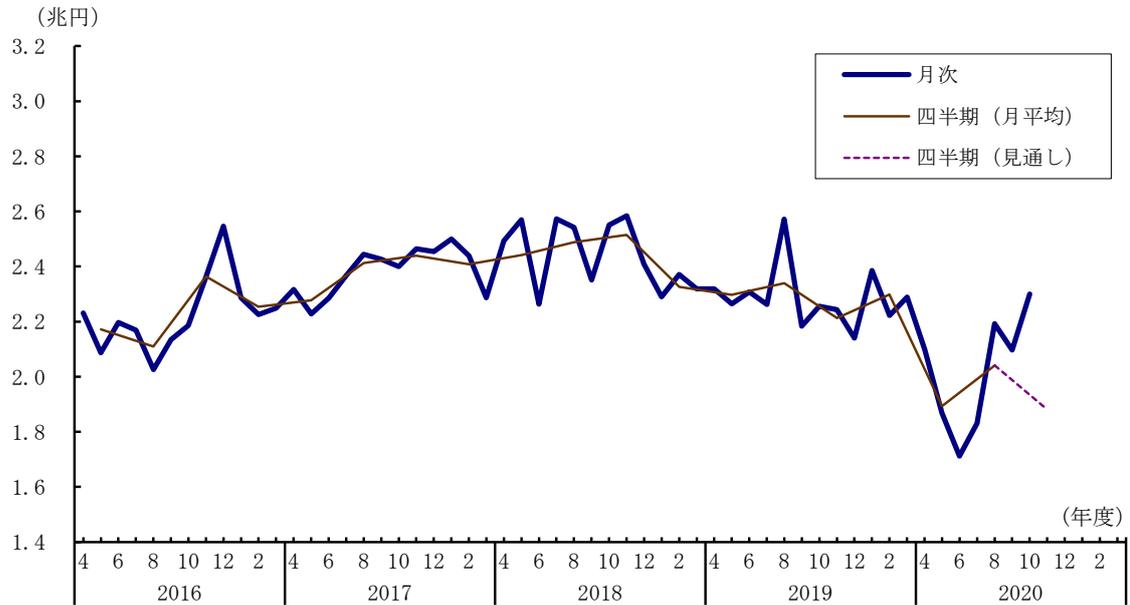
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

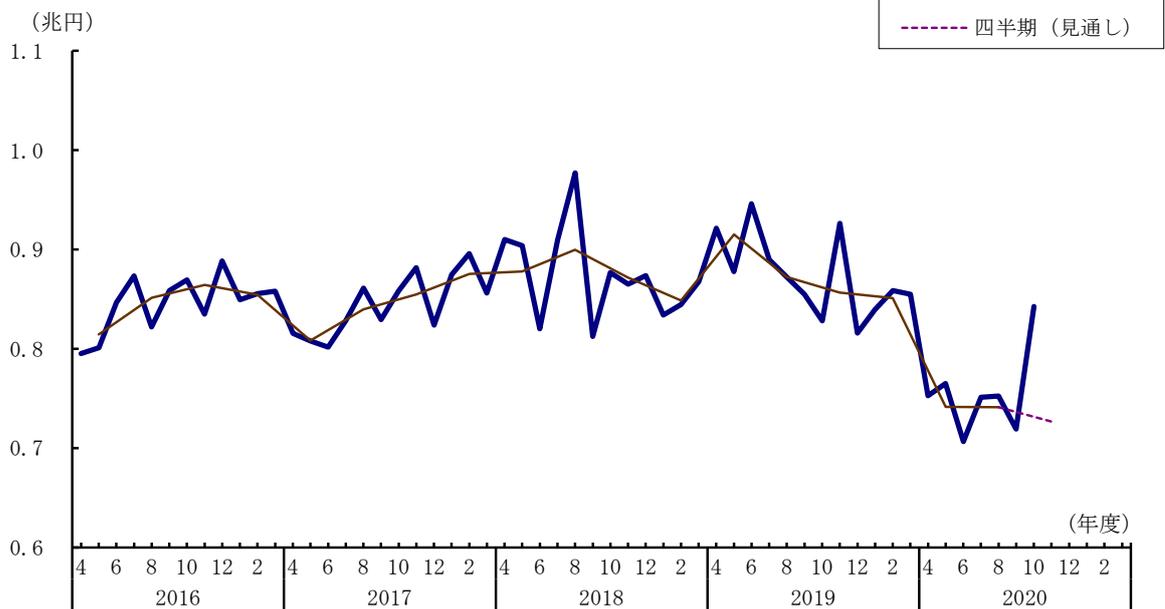
期・月 需要者	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)			2020年 (令和2年)			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	7月	8月	9月	10月
受注総額	66,390 ( -5.4) [ -11.9]	68,963 ( 3.9) [ -0.7]	56,788 ( -17.7) [ -17.7]	61,212 ( 7.8) [ -11.6]	18,311 ( 7.0) [ -19.4]	21,928 ( 19.8) [ -16.5]	20,972 ( -4.4) [ -1.1]	23,003 ( 9.7) [ -0.6]
民需	31,447 ( -4.3) [ 3.0]	29,847 ( -5.1) [ -3.2]	27,347 ( -8.4) [ -15.5]	27,879 ( 1.9) [ -14.9]	9,335 ( 12.2) [ -15.4]	9,285 ( -0.5) [ -23.5]	9,258 ( -0.3) [ -7.3]	9,788 ( 5.7) [ -3.3]
〃 (船舶・電力を除く)	25,698 ( -1.8) [ -1.5]	25,526 ( -0.7) [ -1.0]	22,243 ( -12.9) [ -19.1]	22,231 ( -0.1) [ -14.1]	7,513 ( 6.3) [ -16.2]	7,525 ( 0.2) [ -15.2]	7,193 ( -4.4) [ -11.5]	8,425 ( 17.1) [ 2.8]
製造業	10,783 ( -2.8) [ -10.2]	10,972 ( 1.8) [ -3.4]	9,148 ( -16.6) [ -19.9]	9,418 ( 3.0) [ -15.0]	3,131 ( 5.0) [ -19.0]	3,113 ( -0.6) [ -13.2]	3,174 ( 2.0) [ -12.7]	3,535 ( 11.4) [ 1.1]
非製造業 (船舶・電力を除く)	15,324 ( 3.6) [ 6.2]	14,535 ( -5.1) [ 0.6]	13,130 ( -9.7) [ -18.4]	12,806 ( -2.5) [ -13.4]	4,430 ( 3.4) [ -14.3]	4,123 ( -6.9) [ -16.6]	4,253 ( 3.2) [ -10.7]	4,840 ( 13.8) [ 4.3]
官公需	7,265 ( -10.5) [ -10.8]	9,115 ( 25.5) [ 45.0]	9,339 ( 2.5) [ 8.9]	7,976 ( -14.6) [ 6.6]	2,086 ( -30.4) [ -18.5]	2,677 ( 28.3) [ -19.4]	3,213 ( 20.0) [ 51.3]	2,483 ( -22.7) [ -4.5]
外需	24,268 ( -7.9) [ -25.4]	26,371 ( 8.7) [ -8.7]	17,907 ( -32.1) [ -28.4]	22,987 ( 28.4) [ -12.3]	6,142 ( 13.8) [ -25.3]	9,190 ( 49.6) [ -7.4]	7,655 ( -16.7) [ -6.4]	9,244 ( 20.7) [ 4.1]
代理店	3,458 ( -3.1) [ -11.6]	3,581 ( 3.6) [ -4.1]	2,972 ( -17.0) [ -19.6]	3,018 ( 1.6) [ -15.4]	994 ( 2.3) [ -15.0]	999 ( 0.5) [ -18.1]	1,026 ( 2.7) [ -13.4]	1,097 ( 6.9) [ -6.5]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 第1図 機械受注総額



## 第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期 (月平均) は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2020年10～12月 (見通し)」の計数は、「見通し調査 (2020年9月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。

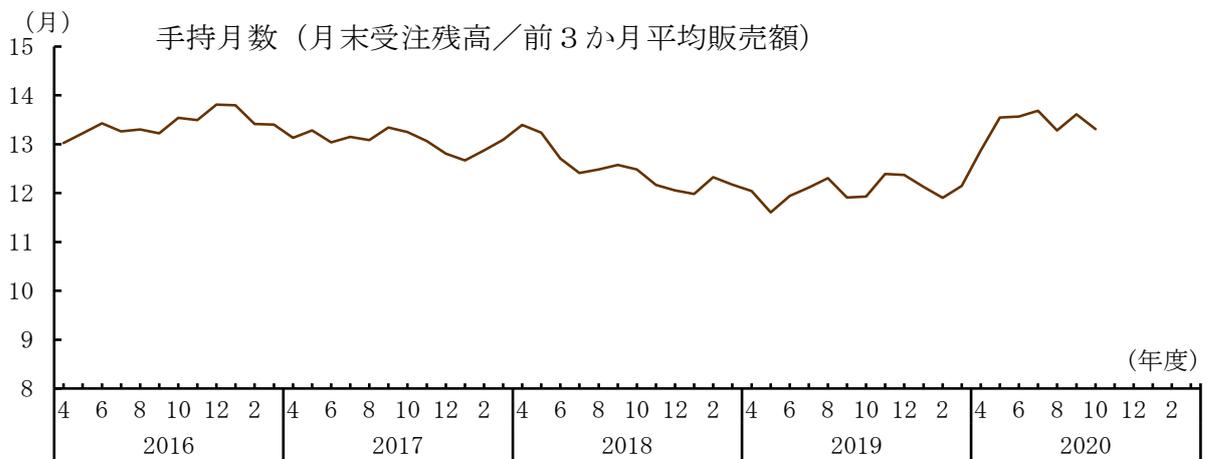
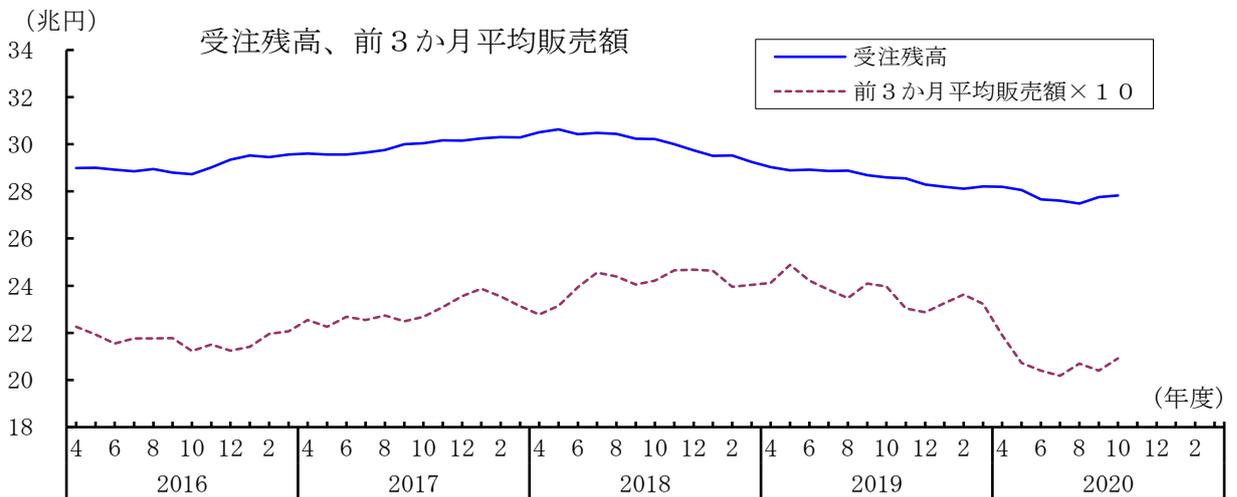
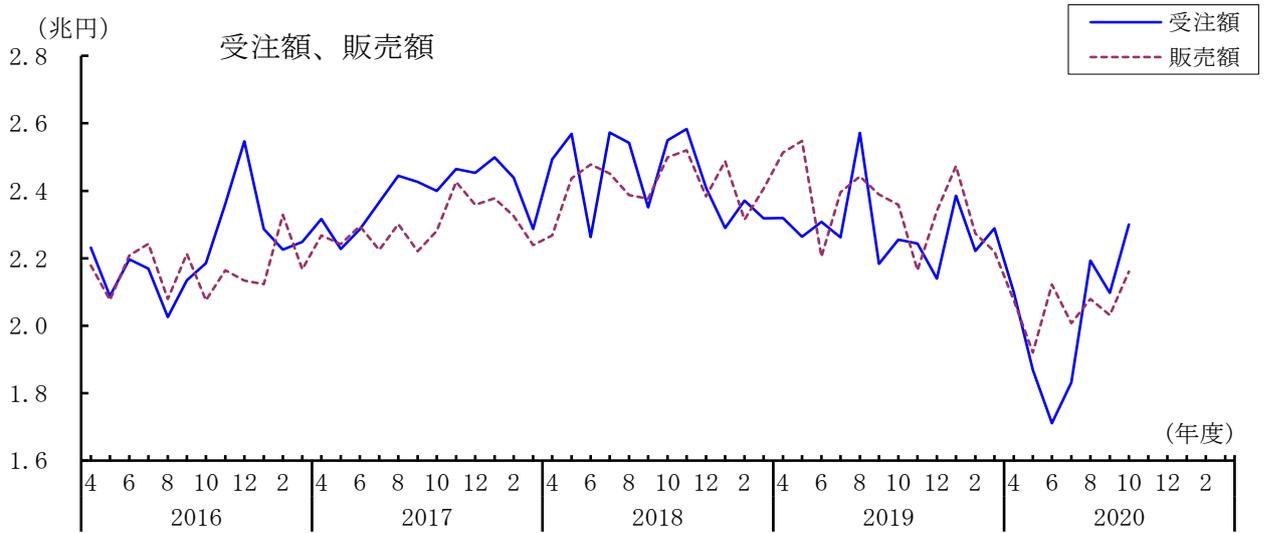
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

期・月 需 要 者	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)			2020年 (令和2年)			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	7月	8月	9月	10月
I 製 造 業 計	-2.8	1.8	-16.6	3.0	5.0	-0.6	2.0	11.4
1 食 品 製 造 業	-26.0	19.2	-9.3	-2.5	-21.2	-30.1	178.7	-40.4
2 織 維 工 業	-15.5	-11.8	-19.6	40.4	2.5	-32.6	107.0	2.9
3 パルプ・紙・紙加工品	-3.9	51.2	-13.4	-22.2	-29.7	13.0	-47.9	59.4
4 化 学 工 業	-12.8	15.5	0.1	-9.0	2.3	-35.3	45.3	43.0
5 石油製品・石炭製品	8.4	8.8	-25.6	62.3	27.1	65.7	-34.8	-22.2
6 窯 業 ・ 土 石 製 品	13.3	-7.6	-34.8	41.6	62.5	-20.3	-7.4	48.8
7 鉄 鋼 業	-2.5	-22.0	3.3	-13.4	17.2	-32.8	-0.1	43.5
8 非 鉄 金 属	-27.8	59.2	-14.8	-28.3	-7.3	62.4	-36.6	297.5
9 金 属 製 品	-11.1	-14.7	-31.2	36.5	27.9	2.6	-16.3	14.1
10 はん用・生産用機械	-4.8	-0.7	-28.7	21.9	3.3	27.2	0.1	9.0
11 業 務 用 機 械	-2.3	0.8	-1.0	1.9	5.7	-5.5	22.6	-13.6
12 電 気 機 械	7.2	22.1	-20.5	-4.3	-3.3	1.5	6.4	-16.9
13 情 報 通 信 機 械	-21.6	2.0	18.4	-23.4	-34.6	20.8	-17.9	27.6
14 自 動 車 ・ 同 付 属 品	0.2	-7.8	-28.4	9.6	6.2	6.6	-1.8	13.9
15 造 船 業	-15.8	-6.8	22.3	2.5	35.4	-32.5	37.0	-29.4
16 「その他輸送用機械」	40.6	5.8	-43.1	-1.0	-1.8	23.4	-63.6	125.7
17 「その他製造業」	-0.9	-12.6	-11.8	6.9	19.2	-10.8	0.5	32.7
II 非 製 造 業 計	-2.0	-9.1	-3.2	-3.1	11.1	-8.6	12.1	2.3
18 農 林 漁 業	-16.7	1.0	10.1	-2.7	-11.1	2.3	11.6	0.5
19 鉱業・採石業・砂利採取業	-4.1	-0.6	15.9	-6.0	6.2	-46.6	51.6	8.2
20 建 設 業	-23.3	3.2	-6.0	5.6	18.9	-10.4	-0.4	-3.0
21 電 力 業	-21.8	-14.4	15.1	-1.2	68.3	16.0	-28.6	-33.0
22 運 輸 業 ・ 郵 便 業	22.6	-14.0	-29.8	17.5	11.0	7.0	14.5	5.1
23 通 信 業	-11.6	34.7	-12.5	6.0	-15.2	-10.1	45.8	-16.8
24 卸 売 業 ・ 小 売 業	-12.7	10.0	-12.8	-11.3	-17.4	-7.4	17.9	54.9
25 金 融 業 ・ 保 険 業	11.0	-21.5	14.7	-12.9	17.0	-38.1	29.4	41.2
26 不 動 産 業	2.9	-14.6	-20.5	28.6	56.1	-32.5	-0.9	62.6
27 情 報 サ ー ビ ス 業	-14.3	-2.9	-1.6	-4.1	-11.2	11.3	-0.4	9.1
28 リ ー ス 業	-0.1	5.4	1.1	-27.7	-7.3	-33.4	1.7	31.5
29 「その他非製造業」	-4.3	-5.6	-9.0	7.5	8.1	17.2	-12.6	8.4

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

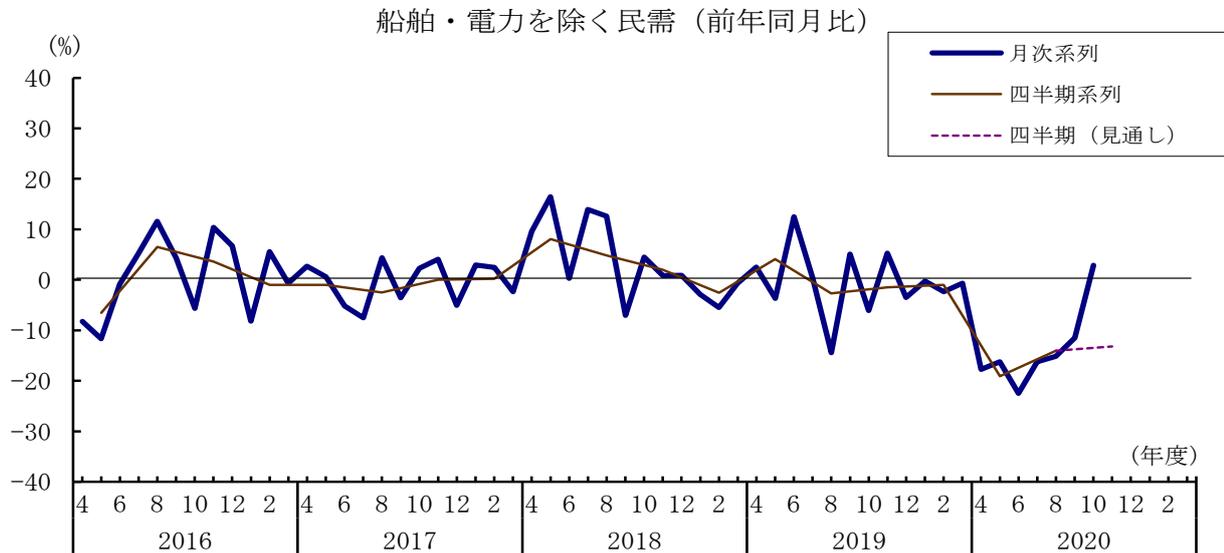
### 第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数 (総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

10月の受注総額は、2兆32億円で前年同月比0.6%減となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2020年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2020年9月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は8,307億円で前年同月比3.3%減（船舶・電力を除くと同2.8%増）、官公需は2,189億円で同4.5%減、外需は8,399億円で同4.1%増、また、代理店は1,136億円で同6.5%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比1.1%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（222.9%増）、化学工業（58.4%増）等の8業種で、「その他輸送用機械」（33.9%減）、石油製品・石炭製品（19.8%減）等の9業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比6.0%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、卸売業・小売業（40.2%増）、農林漁業（28.7%増）等の6業種で、電力業（47.1%減）、リース業（15.5%減）等の5業種は減少となった。金融業・保険業（0.0%）は保合いとなった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

10月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（30.2%増）、船舶（13.5%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（38.5%減）、原動機（34.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.6%減となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（331.7%増）、

道路車両（56.6%増）等で増加となった。反面、原動機（38.0%減）、重電機（13.6%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比3.3%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2019年 (令和元年) 10~12月	2020年 (令和2年) 1~3月	4~6月	7~9月	2020年 (令和2年) 7月	8月	9月	10月
民需総額	3.0	-3.2	-15.5	-14.9	-15.4	-23.5	-7.3	-3.3
原動機	49.5	-13.0	32.0	-27.7	-1.4	-38.9	-27.5	-38.0
重電機	34.1	12.8	-44.1	-6.1	-15.5	-33.2	21.6	-13.6
電子・通信機械	-3.6	0.8	-7.7	-11.8	-12.7	-15.6	-8.7	-2.3
産業機械	-14.8	-8.5	-17.4	-10.6	-9.7	-18.9	-3.9	12.5
工作機械	-39.0	-29.4	-48.8	-38.0	-43.5	-37.7	-32.5	-11.6
鉄道車両	240.2	42.0	-50.7	-19.5	-7.0	-32.6	-21.4	-1.0
道路車両	-16.3	-2.9	-30.1	-27.9	-23.9	-34.8	-25.2	56.6
航空機	-30.9	-14.5	-31.1	-27.4	-24.1	-9.8	-36.3	-9.9
船舶	-18.9	-13.4	39.0	-11.1	-83.0	73.7	116.8	331.7

## (2) 販売額

10月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（7.7%増）、鉄道車両（5.6%増）等で増加となった。反面、航空機（50.3%減）、工作機械（26.8%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比8.3%減となった。

## (3) 受注残高

10月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（2.6%増）、産業機械（2.3%増）等で増加となった。反面、工作機械（28.9%減）、航空機（26.2%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.7%減となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

10月の受注額は、294億円で前年同月比38.1%増、販売額は、201億円で同6.5%減、受注残高は、4,429億円で同6.6%増となった。

### (2) 軸受

10月の受注額は、596億円で前年同月比11.4%増、販売額は、517億円で同9.6%減、受注残高は、831億円で同12.7%減となった。

### (3) 電線・ケーブル

10月の受注額は、1,008億円で前年同月比4.8%減、販売額は、1,000億円で同6.1%減、受注残高は、1,409億円で同4.3%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表  
目 次

[ グラフ ]

第1図	主要需要者別受注額 -----	9
第2図	主要業種別受注額 -----	12
第3図	主要機種別受注額 -----	17

[ 計 数 表 ]

需要者別受注額	(季節調整系列) -----	18
機種別受注残高	手持月数 ( " ) -----	23
需要者別受注額	(原系列) -----	24
機種別受注額	( " ) -----	29
機種別販売額	( " ) -----	33
機種別受注残高	( " ) -----	37
機械受注統計調査結果表	(2020年10月実績) -----	41

(別紙)

需要者 (業種) 分類の表章変更	-----	45
------------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----